

◆地方創生推進交付金 実施事業一覧

(単位:円)

事業主体名称	事業名及び内容	交付決定額	実績額
泉南市 (産業観光課)	【事業名】 産官学連携まち・海・里山創生事業 【内容】 ・大学連携によるアナゴの養殖事業の展開 (岡田浦漁業協同組合)	4,350,000	4,345,143
泉南市 (産業観光課)	【事業名】 産官学連携まち・海・里山創生事業 【内容】 ・農業塾・砂栽培プラントの運営 ・農業公園(花咲きファーム)を核とした活性化イベントの開催、農水産観光の確立検討	2,650,000	2,530,608
泉南市 (産業観光課)	【事業名】 (仮称)泉州観光DMO推進事業 【内容】 ・泉州の認知度の向上を目指し、体験型観光を推進することで観光客数及び地域内消費額の増加による地域経済の活性化を図る。 ・一般社団法人 KIX泉州ツーリズムビューローが事業を実施しており、堺市から岬町までの9市4町は正会員として参画し、負担金及び会費を支出している。	4,081,000	4,081,000
計		11,081,000	10,956,751

地方創生推進交付金 事業報告

◆事業No:1

担当部局	事業名
市民生活環境部 産業観光課	産官学連携まち・海・里山創生事業 (水産分野)
交付金決定額 (単位:円)	実績額 (単位:円)
4,350,000	4,345,143
事業概要	
この10年で漁獲高が10%に激減(平成16年の140tから平成28年9t)している泉南市のアナゴの保全・再生を図り、水産業を活性化するため、アナゴの養殖研究に取り組んでいる近畿大学水産研究所の指導のもと、市のマネジメントにより漁業協同組合が主体となってアナゴの養殖を実施する。漁業協同組合のアナゴ事業の確立(経営の自立)を目指し、経営の視点を主とした試験養殖によるデータの採取を行うとともに、外食産業との連携やふるさと納税返礼品への活用等により、地域ブランドの確立と付加価値創造を目的としたPRを促進し、水産業の活性化を図り、さらに地域の活性化につなげる。	
事業成果	
1 経営モデルの検証を目的に、アナゴの稚魚約4,000匹を岡田浦魚組にて、約3,000匹を5月に近畿大学富山実験場に輸送し、10月に富山から岡田浦へ里帰り輸送、双方での試験養殖の実施により、出荷可能時期と出荷量の検証を行った。 2 平成31年3月にろ過槽・試験井戸取水ポンプの設置を行う。 3 自民党物産展など各種イベント等で泉南あなごの試食提供を行う。また、「泉南あなごPR大作戦2018-食べに来てや泉南あなご-」と銘を打ちPR作戦を実施、市内外飲食店7店舗へ泉南あなごの供給を行い、泉南あなごをお客さんに味わっていただいた。民間店とのコラボレーションにより、「泉南あなご」タレ焼き・白焼き50セットをふるさと納税返礼品としたところ、短期間のうちに返礼品完了となる。平成30年12月に堺市で開催された「あなごサミット」に参加し、泉南あなごの加工品の販売を行った。	



梅田1丁目美味しい市場出店風景



ローズフェスティバルに合わせたイベント



あなごサミット出店風景



泉南あなごPR風景

地方創生推進交付金 事業報告

◆事業No:2

担当部局	事業名
市民生活環境部 産業観光課	産官学連携まち・海・里山創生事業 (農業分野)
交付金決定額 (単位:円)	実績額 (単位:円)
2,650,000	2,530,608
事業概要	
I : 泉南農業塾運営事業 1 遊休農地等を学習ほ場として活用し、泉南の農業の担い手を育成するため、市が主体となり農業塾を運営する。 2 塾生は通塾により経営農家に向けた知識(作付、栽培など)を習得し、卒業後は泉南市内での新規就農を目指す。 II : 砂栽培プラント展示事業 官民連携のもと、小規模な砂栽培プラントを設置し、市内をはじめ泉州地域の農家・企業等に砂栽培の見学・体験機会を付与するとともに、泉南農業塾の学習施設として活用する。 III : 農業公園活性化推進事業 農業公園(花咲きファーム)を核とし、市内の農水産の要素を組み合わせた農水産観光の確立を目指した新たなイベントの開催や、市民協働による芝桜の植栽などにより農業公園の活性化とにぎわいの創出を図る。	
事業成果	
I : 泉南農業塾運営事業 8名の塾生に対し、玉ねぎなど24種の植え付け栽培指導や各種講習への参加機会を提供し、10月に卒塾、泉南農業の担い手の育成を行った。引き続き11月より4名の塾生に栽培指導等を実施している。 II : 砂栽培プラント展示事業 砂栽培の導入に関心のある個人1名に砂栽培プラントを貸与し、作物の栽培から収穫までの流れを体験する機会を提供した。平成30年1月に共同研究締結をした大阪市立大学が温湿度センサーを設置し、データを収集、砂栽培の共同研究を進める。9月の台風21号でビニールハウス等設備に大きな被害を受けたが3月末までに修繕済み。 III : 農業公園活性化推進事業 1 4月に農業公園(花咲きファーム)において農業祭を開催した。11月には第3回せんなん農と海の恵みマルシェを開催し、第1次産業団体等の飲食提供、泉南あなごのPRを行った。平成31年3月にロゲイニングによる産業ツーリズムを実施した。 2 8月に農業公園管理ボランティアを募集し、10月から芝生広場、芝桜等の草刈りや水やりなどのボランティア活動を行っていただいている。 3 新たな憩いの場創出の一環として、ストレートパーゴラ(藤棚)を購入し、設置した。	



秋のイベント風景



秋のイベント風景



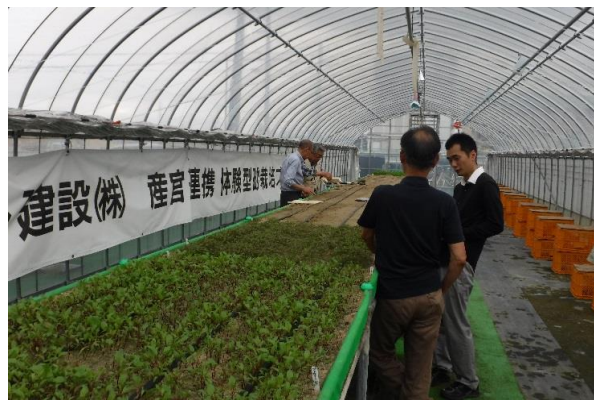
農業塾作業風景



農業塾講義風景



砂栽培定植作業風景



砂栽培見学風景

地方創生推進交付金 事業報告

◆事業No:3

担当部局	事業名
市民生活環境部 産業観光課	泉州観光DMO推進事業 (観光分野)
交付金決定額 (単位:円)	実績額 (単位:円)
4,081,000	4,081,000
事業概要	
マーケティング調査結果を踏まえ、次の3つのコンセプトのもと以下の事業を展開することにより、観光客数および地域内消費額の増加による地域経済の活性化を図る。 (認知度向上) 泉州地域には、大阪府内でありながら、海や山といった自然があり、また百舌鳥古墳群をはじめ、岸和田城やだんじり祭りといった歴史文化資産が存在している。食においても、大阪湾の魚介類や地場の農産物等の食材が豊富で、新鮮でバラエティに富んだ個性的な食文化がある。これらをより差別性のある「泉州ならではの価値」として磨き上げつつ、外向きに発信していくことで、「泉州」の認知度向上をめざす。 (セカンド・デスティネーション) 現状では、泉州地域を主な目的地とするインバウンド客数は決して多くない。そのため、関西国際空港に近接する泉州地域の強みを最大限に発揮することのできるアプローチが重要である。入国直後の旅行中に持ち運べる食品等の販売。主な目的地である大阪市内や京都における泉州地域のPR。出国直前の使いきり需要を掘り起こす地産品の物販。このようにセカンド・デスティネーションとして地域への滞在を促す3つのパターンを想定し、「泉州」の認知度向上に貢献することをめざす。 (体験型観光) 泉州地域で作られる豊富な食材・食品を観光資源として活かすため、“買う”、“食べる”、“作る”の魅力をパッケージ化する。泉州地域の食材は多様かつ豊富であるので、食材そのものを打ち出すのではなく、それを複合化した食文化として再構築しブランド化するとともに、関西国際空港に近接する立地を活かし、インバウンド客に向けたプロモーションを実施する。 また、高野山や淡路島等で自転車ツーリングを楽しむ旅行者に対して、泉州サイクルルートを活用した地域資源のプロモーションや近隣府県と連携したサイクリングイベントの実施により誘客を図る。また、ワールドマスタースゲームズ2021関西では、関西国際空港から来日する自転車愛好家の増加が見込まれるため、その好機を生かして海外のサイクルツーリストの泉州地域への立ち寄りを促進する。 さらには、泉州地域に豊富に資源が存在する歴史文化や産業へとテーマを拡大し、さらなる誘客を図る。 【事業実施主体】一般社団法人 KIX泉州ツーリズムビューロー ※堺市から岬町までの9市4町における観光振興を目的とし、これまで個別の取り組みとして活動していた泉州観光プロモーション推進協議会、KIX泉州国際マラソン実行委員会、華やいで大阪・南泉州観光キャンペーン推進協議会の3団体を統合のうえ平成30年3月に設立された。9市4町は正会員として参画し、負担金及び会費を支出している。	

事業成果

平成30年度 事業実施概要

(1)プロモーション事業

- 台湾大商談会(9月開催)などの世界的な旅行博覧会等への出展による泉州のPR
- 台湾、韓国等のメディアや有名ブロガーを招請による泉州のPR
- 紀州街道等の魅力をPRするうえでのウォーキングイベントの実施など

【主な実績】

- ▶ 台湾大商談会の泉州PRブースで商談した企業数:約43社
- ▶ 韓国旅行ブロガーのFB・IG(29記事「いいね」総数:6,131*他にブログ22記事あり
- ▶ 台湾旅行ブロガーのFB・IG(27記事)「いいね」総数:10,186*他にブログ12記事あり
- ▶ ウォーキングイベント参加者数:約893名(502名+391名)

(2)情報発信事業

- 若年層に人気のインスタグラムを活用した泉州のPR
- 泉州の魅力を動画で発信するうえでのホームページ、フェイスブックのリニューアル
- 大阪泉州まるわかり屋(関空エアロプラザ2階)での泉州の特産品等のPR・販売
- 泉州地域の外国人留学生を「PRサポーター」に任命し、外国人目線で泉州の魅力を発信など

【主な実績】

- ▶ 泉州ガイドのユーザー数とページビュー数(2018年4/12019年2月)
ユーザー数:114,371(前年78,795/前年比145.2%)
ページビュー数:283,200(前年226,265/前年比125.2%)
- ▶ 大阪泉州まるわかり屋売上額:約6,300,000円

(3)受入環境整備事業

○泉州サイクルルートの設定(沿道コンビニ等へのサイクルステーションの設置など)、ルートマップ作成によるPR

- KPI指標の設定に向けてのビッグデータ等を活用した観光マーケティング調査の実施
- 大阪周遊パス「南海関空版」と連携した泉州割引クーポン(泉州のおもてなし)の配布など

【主な実績】

- ▶ ルートマップ配布数:約7,500枚
- ▶ 泉州割引クーポン利用件数:泉州まるわかり屋(10件)、浪速酒造(5件)

(4)商品企画・開発事業

- トランジット等の短時間での観光ニーズに応じた関空周辺の観光モデルコースの設定など

【主な実績】

- ▶ コースマップ配布数:約2,000枚

(5)マラソン事業

- 岸和田城をゴールとしたハーフマラソンの初開催
- ゴール会場の物産展でのキャッシュレスの実証実験
- ランナーの現在地がリアルタイムでわかる「応援ナビ」アプリの活用
- 南海電鉄と連携した沿道乗り放題切符の販売など

【主な実績】

- ▶ フルマラソン申込者数:5,790名(うち外国人数:93名)
フルマラソン実走者数:5,155名(うち外国人数:75名)
- ▶ ハーフマラソン申込者数:1,290名(うち外国人数:65名)
ハーフマラソン実走者数:1,051名(うち外国人数:49名)
- ▶ キャッシュレス利用者数:68名
- ▶ キャッシュレス販売額数:35,050円
- ▶ 南海応援パス販売数:228枚(前回大会221枚)